第10号
校長　田之上典昭

チャレンジ明桜館事務局！

標題の事務局なるものが本校に設置されています。
赴任当初，何をする事務局なのだろうと不思議に思っていました。
その設立経緯を聞くと，明桜館高校が開校して３年目の平成２４年度に，学校 PR と地域貢献を目的に，本校の２期生が中心になり商業科の課題研究の授業でつくられたものであるということがわかりました。

その設立に尽力されたのが，昨年まで本校に勤務されていた九田泰好先生（現　県立山川高校勤務）と小吉成興先生（現　県総合教育センター勤務）で，現在，その意志が引き継がれているところであります。

初期のスローガンが「ノウハウゼロ！・突撃！・まねて！・創り出せ！」というもので，設立当時の熱い思いが伝わってきます。
地元商工会や NPO 法人「こいやま八重の会」（末吉　勇理事長）等と活動をともにしながら育ってきたものが，昨年度の本校１０周年に向けた取組の中でさらなる進化を遂げたということです。

この素晴らしい取組を，新たなスタートである１１年目に学校全体の取組として進化できないのかとも思っています。

今年度は，コロナ禍で大きな地域イベント等が中止となる中で，事務局の活動として，地元郡山の岩戸地区の方々とのコラボによる，郡山のブランド米の開発計画として生徒が田植えから稲刈りまでを経験しました。
また，地元郡山にある企業（株）EN　WATER　FARMS のプロジェクトである「農業・福祉・スポーツ」を通じた地域活性化に本校も加えていただいたところです。イチゴを活用した商品開発やスポーツにおいては，バレーボールをとおした地域の魅力発信に協力していこうと考えています。その一環として，本校バレーボール部の指導にも，元 V リーガーの池田龍之介さんにおいでいただいているところでもあります。このスポーツをとおした地域活性化では，将来的に「フラーゴラッド鹿児島」というチーム名で V リーグへの参戦も目指すという大きな夢があり，地域で応援できるチームが出来ることを期待をしているところです。

無から有を創り出す体験は，生徒たちの将来にも必ず役立つであろうと考えます。